

# H30年度 第1回学校評議員会の実施報告書

---

学校名 飛騨古城特別支援学校

学校長 鈴木 肇子

所在地 飛騨市古川町片原町8番127

電話 0577-73-3600

---

## 1 会議の名称

岐阜県立飛騨古城特別支援学校評議員会

## 2 会議の構成

### ◆学校評議員

中屋 正利	地域代表（事業主・青龍会会長）
大谷 吉憲	地域代表（殿町20区区長）
藤田 計人	飛騨慈光会古城山ゆり園園長
松井 瑛子	地域代表
井本 要次	P T A会長

### ◆飛騨古城特別支援学校

鈴木 肇子	校長
澤田 秀俊	教頭
坂垣内 徹	事務長
長瀬 朋彦	小中部主事
石原 元子	教務主任
清水 学	進路指導主事（作業主任）

## 3 会議の目的

学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

## 4 会議の開催

日 時：平成30年6月25日（月）午後10時00分～11時30分

場 所：飛騨古城特別支援学校 多目的室及び各教室

出席者：委員5人 学校職員6人

欠席者：なし

## 5 会議の概要

- (1) 校長挨拶
- (2) 委嘱状交付
- (3) 授業参観  
教頭の案内で参観
- (4) 自己紹介
- (5) 会議の概要

### ①学校概要等について説明

- ・日頃から地域の方々には大変お世話になっている。本年度は全校児童生徒31名でスタートしている。昨年度から高等部に不登校傾向生徒が2名在籍しているが、少しずつ登校できるようになってきている。高2女子においては、運動会に参加し、リレーに出場できた。高等部3年の修学旅行は男子生徒6名が参加する。とても楽しみにしている。
- ・体育館天井工事が始まった。同様に工事を行っている県内の特別支援学校では、要望が多いと聞いているが、当校では児童生徒や保護者が協力してくださっているためありがたい。
- ・小学部は、生活する力の育成に重点をおいて指導、支援している。中学部は、人と関わる力の育成に重点を置いて指導、支援している。両学部とも児童生徒が学びたいと思う学校、保護者の方が安心して我が子を学ばせたい学校、地域の方が信頼し、期待する学校を目指している。
- ・高等部では、重点の「豊かで丈夫」は体だけでなく、心も育てていきたいという思いがある。不登校傾向生徒が在籍しているとの説明があったが、人と関わるコミュニケーションスキルを獲得できるように支援したい。
- ・当校児童生徒は地域の方々に助けていただくことが多いが、MSリーダーズ活動等をとおして地域に貢献する活動も行っていきたい。

### ②高等部作業学習及び製品価格について説明

- ・校内作業実習、現場実習の概要と平成29年度卒業生の進路状況を説明した。卒業生5名中、企業就労2名、福祉就労2名、進学1名であった。
- ・作業会計と以下の新製品の価格設定について説明した。
  - ・県から予算をいただいて、売り上げは全て県へ納入している。平成29年度実績は、県から消耗品費と原材料費をあわせて210,000円いただき、県へ291,800円を納入した。
  - ・窯業班の置物5：お雛様をセットにまとめ500円で販売したい。
  - ・手工芸班のティッシュ6：肩掛けショルダーバッグで刺しゅう入りを600円で

販売したい。

- ・ティッシュ 8：ティッシュ 6 に内ポケットをつけて 800 円で、調整できるように金具を付けると 800 円で販売したい。
- ・ティッシュ 10：ティッシュ 6 に内ポケットと金具をつけて 1000 円で販売したい。
- ・ポケットティッシュケース 3：箱ティッシュをそのまま詰め替えて持ち運びできるティッシュケースで、300 円で販売したい。

### ③働き方改革について説明

ア) 当校職員の 5 月出退勤簿では、78 時間/月の職員がいた。休日出勤をしている職員は 45% を超えていた。当校では以下のような取組をしている。

- ・学校の電話に留守番機能をつけた。19:00～7:45 及び休日は留守電機能で対応している。
- ・8 のつく日 (8、18、28 日) と毎水曜日は 18:00 閉庁を徹底している。
- ・休み方改革ではないため、教育の質を保障する。職員が工夫しながら教育をきちんとしたい。また、特定の職員に業務が集中しないよう配慮していきたい。

### ④評議員からの意見や質問と回答

意見 1：作業製品のかかずに手工芸班のポケットティッシュケースはアイデアが良い。窯業の置物 5 は安くお値打ちである。価格は適正である。

意見 2：丁寧な作りであり、価格は適正である。

意見 3：児童生徒の将来を考えた工夫のある授業を参観した。素晴らしい。

意見 4：子どもたちが一生懸命頑張っている授業だった。運動会でもそれぞれの子どもたちのチャレンジする姿を見ることができた。やり終えての充実感が伝わってきた。先生方が工夫している。

私が古川小学校に在職しているとき、現在中学 3 年女子が入学してきた。表情が豊かになりうれしく感じた。子どもの将来を考えた授業をしていることが伝わってきた。

意見 5：高 2 男子の不登校傾向生徒が教室で寝てしまうのは、ゲーム依存症と考えられないか。新聞によるとゲーム依存は疾病であるという記事を見た。原因がわかれば対応もわかる。

澤田：生活を整え、生活習慣を組み立てることをやっていきたい。

意見 6：働き方改革について。職員が疲れた顔で子どもたちに接してほしくないと思う。

意見 7：縫製でミシンを集中してやっていた。どの授業も子どもに合った教育活動が考えられていた。運動会では、車いす使用の子どもも先生が手を取りダンスをするなど、参加していた。また、地域の方々の参観が多く、地域との連携を感じた。不登校生徒への関わりはどのようにしているのか。

澤田：個々の様子や状態に合わせ、本人の特性を見極めて負担にならないよう支援している。

意見7：保護者として我が子を思うと、環境に恵まれ、先生方も優しく接していただいて、子どもは成長しているが、高等部卒業後社会に出て、通用できる力はまだまだついていない。これからつけていきたい。地域の方々にも協力をお願いすることがあると思う。今後もよろしくお願ひしたい。

## 6 会議のまとめ

校内を参観していただき、学校の様子や学校概要から、教育活動について妥当であると評価していただいた。今後も児童生徒の自立と社会参加のために、保護者や関係機関、地域の人々の理解と協力を得ながら教育活動を展開していきたい。

また、作業学習における新製品の価格は適正と承認を得た。

最後に、今後の予定として、①第1回学校評議員会記録の確認、②学校評価アンケートの記入、③第2回学校評議員会（12/1学校祭）予定について連絡した。